

エンジニアパーク

Engineer *Ring* Park



坂元 直人 建設部門（建設環境）

勤務先：株式会社 エコテック sakamoto@ecotech.ne.jp

【自己紹介】1963年（昭和38年）島松生まれ；6歳から内地へ；管路に携わるメーカーの技術者として大阪→北海道→東京へと9年；転職し復道、環境調査歴13年目。

【反省】80年代後半のバブル絶頂期、私は北海道の大規模造成地で、沢を埋め立て管路化する工事に係わっていました。山林の複雑な沢を直線化し、パイプを布設し速やかに排水する。大幅なコスト縮減。メーカーとして製品にも自信がありました。そんな当時、施工現場で見慣れない生き物が目に入ったのです。今思えばヤツメウナギの幼生でした。隠れていた泥の中から追いつかれ必死に逃げ惑っていたのでしょう。太古の昔から脈々と繋がってきた生態系を油圧機械の一振りです

瞬にして削り取っていく。生き物の棲む複雑な景観は、瞬く間に整然とした平らな土地に変わりました。

【大切なこと】転職後、北海道の水辺を調査し、生き物たちから12年分のメッセージを受け取りました。“自然のでこぼこ・じめじめ・崩れたところ……これらは全て意味があり、必ず何かがそこに依存している。人間の一時的な都合で取り除いてしまったり、その結びつきを切り離したりしてはいけない”

【これから】何気なく見ていた生き物がある年から忽然といなくなる。私が環境調査に携わったほんの12年の間でさえ生態系の劣化は急速に進んでいます。自然の回復能力は決して悔ったものではありませんが、もう限界かも知れません。次世代に繋ぐ……私たちエンジニアは今こそ共通の危機意識を持ち、ひとつひとつの修復を目指すときです。



次号は、田原さゆりさん（建設部門）



益村 公人 建設部門（土質及び基礎）

勤務先：益村測量設計 株式会社 E-mail:masumura_k@masumura.co.jp

家業を継ぐために平成14年4月に網走へ戻り、今年で5年目を迎えました。それまでは、旧JH（現NEXCO）で約11年間、高速道路の建設及び維持管理に関する計画・調査・設計・施工管理・新技術の研究開発業務に携わってまいりました。現在は、経営者の立場としてマネジメント分野に重きを置いて仕事を行っております。ところで話は変わりますが、地元生活に対する雑感を少しお話をさせていただきます。ここ網走での生活は地元を離れてから約22年ぶりとなります。久々に戻った地元でしたが、商店街を歩いてみると、何とも街に人がいないではありませんか。子供の頃に覚えている昼間の商店街は、人の肩と肩がぶつかるほどの往来があったのに、それが今では人を探してもいない！（これは大袈裟（^_^;））全国的な傾向なのかもしれませんが、郊外店舗の進出によってアーケード商店街は衰退の一步へと……網走でも同様です。それでも、車等の移動手段を持たない方々（特に高齢者）は、やはり近場のお店を根強く利用しているようなのです。これを見ていると、素人ながらに「時代の変化に応じた集客手法を再考するべきでは」とか、技術屋の立場からは、「市街地インフラも主たる利用者層に応じた改良がもっと必要かな」とも実感しております。その為にやらなければならない事は、全て行政任せではなく、住人自らの意識で街の長所・短所等をチェックし、新たな計画を立てそれを実行すること。少なくとも私も含め自分達が行動する事で街に活気は蘇るのかなと感じます。



次号は、島田昭三さん（農業部門）